

こいしわらがわ

## 小石原川ダム 防災操作による河川水位低減効果について

独立行政法人 <sup>みずしげんきこう</sup>水資源機構が管理する小石原川ダム（福岡県朝倉市）では、7月7日からの降雨により増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この防災操作により、小石原川ダムの下流約22キロメートルにある <sup>さかえだばし</sup>栄田橋地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約22センチメートル低減できました。

詳細は、別紙を参照ください。



令和5年7月11日

独立行政法人水資源機構  
筑後川上流総合管理所

### 配布先

西日本新聞朝倉支局  
読売新聞筑紫支局  
毎日新聞福岡南支局  
朝日新聞太宰府支局  
国土交通省九州記者会

### 問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所 管理課長 山本  
住所：福岡県朝倉市江川 1660-67  
電話：0946-25-0113  
ホームページ <https://www.water.go.jp/chikugo/chikujo/>





# 【参考】小石原川ダムの概要



【小石原川ダム管理所】  
福岡県朝倉市江川2815-20

完成年	2020年（令和2年）
河川名	筑後川水系小石原川
型式	ロックフィルダム
堤高	139.0m
堤頂長	558.3m
堤体積	8,700,000m <sup>3</sup>
ダム湖名	令和あさくら湖
湛水面積	1.2km <sup>2</sup>
集水面積	20.5km <sup>2</sup>
総貯水量	40,000,000m <sup>3</sup>

## ●洪水調節（自然調節方式）

ダム地点における計画高水流量190m<sup>3</sup>/sのうち140m<sup>3</sup>/sをダムに貯留し、下流の高水流量を低減させ、洪水被害を軽減します。

## ●流水の正常な機能の維持

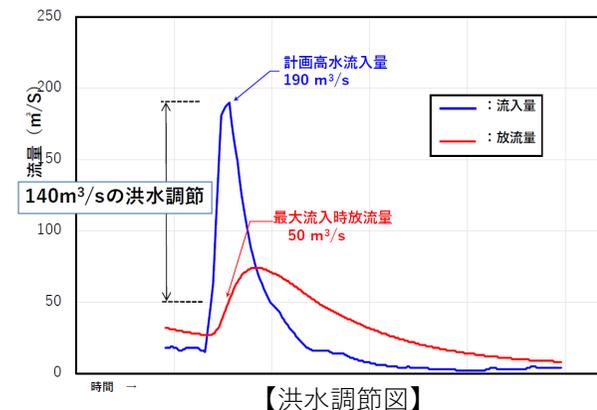
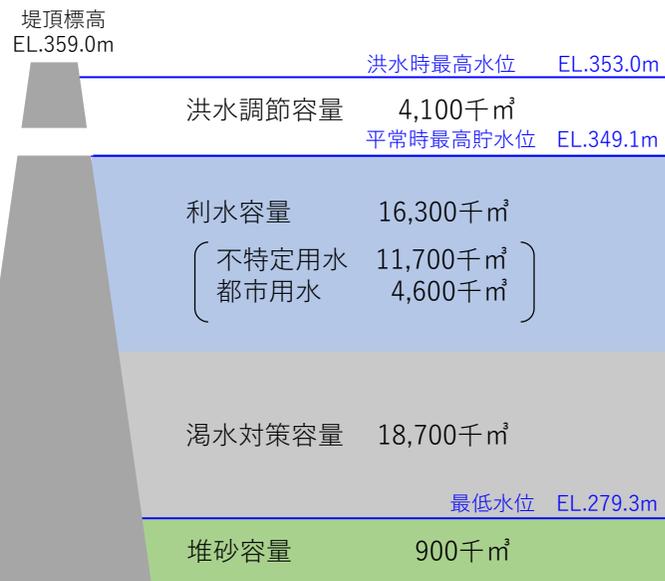
小石原川、佐田川及び筑後川の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

## ●渇水対策

筑後川水系の異常渇水時に社会生活、経済活動及び河川環境等への被害を最小限とするため緊急水を補給します。

## ●水道用水の供給

瀬ノ下地点において、福岡県南広域水道企業団及びうきは市の水道用水として最大0.65m<sup>3</sup>/sの取水が可能となるよう水道用水を供給します。



貯水位等の最新情報は  
こちらから→  
『川の防災情報』へのリンク



# 【参考】両筑平野用水（江川ダム）の概要



【両筑平野用水管理所】  
福岡県朝倉市江川1660-67

完成年	1975年（昭和50年）
河川名	筑後川水系小石原川
型式	重力式コンクリートダム
堤高	79.2m
堤頂長	297.9m
堤体積	261,000m <sup>3</sup>
ダム湖名	上秋月湖
湛水面積	0.9km <sup>2</sup>
集水面積	30.0km <sup>2</sup> （9.5km <sup>2</sup> ）
総貯水量	25,300,000m <sup>3</sup>

## ●農業用水の補給

寺内ダムとあわせて、小石原川、佐田川沿いの2市2町（朝倉市、小郡市、筑前町、大刀洗町）約4,700haの水田及び畑地に農業用水を補給します（最大11.795m<sup>3</sup>/s）。

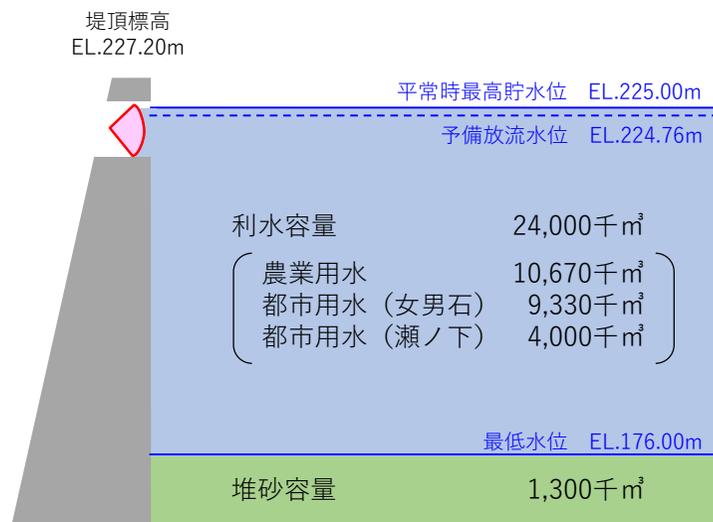
## ●水道用水の供給

女男石頭首工地点において、福岡市及び朝倉市の水道用水として平均0.862m<sup>3</sup>/s（最大1.158m<sup>3</sup>/s）の取水が可能となるよう用水を供給します。

また寺内ダムとあわせて、瀬ノ下地点において、福岡地区水道企業団、福岡県南広域水道企業団、佐賀東部水道企業団及び鳥栖市の水道用水として最大3.65m<sup>3</sup>/sの取水が可能となるよう用水を供給します。

## ●工業用水の供給

女男石頭首工地点において、朝倉市の工業用水として0.173m<sup>3</sup>/sの取水が可能となるよう用水を供給します。



【女男石頭首工】

貯水位等の最新情報は  
こちらから→  
『川の防災情報』へのリンク



# 【参考】小石原川ダム及び江川ダムの位置

➤ 小石原川ダムは小石原川（筑後川河口から約40km）の約25km地点、江川ダムは約20km地点、治水基準点『栄田橋』は約3km地点（小石原川ダムの約22km下流）に位置する。

